

# 2015年度 第2四半期決算説明会

2015年11月9日  
三菱ガス化学株式会社

## 2015年度第2四半期 事業概況及びトピックス

### <事業概況>

- 原燃料価格の低下や円安効果により、芳香族化学品や機能化学品の収益が改善。
- (株)JSPの連結子会社化は売上高・営業利益の増加に寄与。
- 需要低迷により、BT材料やPCシートフィルムの販売数量が減少。
- メタノール市況は軟調に推移、持分法利益が減少。

### <トピックス>

- トリニダード・トバゴでのメタノール・DME製造販売事業の投資を決定
- アンモニア自社生産を停止し、外部購入に切り替え
- 国内地熱事業の進展（岩手県、秋田県、北海道）
- 特殊PCの能力増強（モバイル機器のカメラレンズ向け需要好調）
- QOLイノベーションセンター白河の着工
- 日本サーキット工業(株)の解散を決定

# 連結 2015年度 第2四半期 実績

【単位：億円】

	2014年度 2Q累計	2015年度 2Q累計	増 減		2015年度 2Q累計 (前回予想*)
			金額	%	
売上高	2,678	3,002	324	12.1	3,100
営業利益	63	153	90	143.1	110
(持分法利益)	(167)	(81)	(▲ 86)	(▲ 51.6)	(75)
経常利益	229	211	▲ 17	▲ 7.8	170
税金等調整前四半期純利益	229	234	4	2.1	170
親会社株主に帰属する四半期純利益	204	185	▲ 19	▲ 9.5	140

\*2015年8月3日公表

EPS (円/株)	45.31	41.55
中間配当金 (円/株)	7.0	8.0
為替レート (円/US\$)	103	122

- ▶対前年同期比 (株)JSPの連結化・原燃料価格の低下・円安等により売上高・営業利益が増加も、メタノールの市況下落やブルネイ拠点での定期修繕等により持分法利益が減少し、経常利益・四半期純利益は減益。
- ▶対前回予想比 単体の固定費減少や特殊PCの数量増、(株)JSPや電子工業用薬品子会社の業績上振れ等により、前回予想を上回る。

※本ページ以下に記載の数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示は単位未満四捨五入で表記しております。

# 連結 2015年度 第2四半期 営業外損益・特別損益

【単位：億円】

	2014年度 2Q累計	2015年度 2Q累計	増 減
営業外損益	166	57	▲ 108
持分法利益	167	81	▲ 86
金融収支	3	6	2
為替差損益	0	▲ 24	▲ 25
その他	▲ 5	▲ 4	0

▶持分法利益  
メタノール市況下落やブルネイ拠点での定修実施により海外メタノール生産会社に係る持分法利益が減少。

▶為替差損益  
人民元切下げ/タイバーツ安により為替差損が発生。

特別利益	21	38	16
投資有価証券売却益	-	34	34
受取補償金	10	-	▲ 10
その他	11	4	▲ 6
特別損失	▲ 21	▲ 15	5
関係会社整理損	-	▲ 10	▲ 10
事業構造改善費用	▲ 11	▲ 3	7
その他	▲ 9	▲ 1	8

▶投資有価証券売却益  
政策保有株式の売却益を計上。

▶関係会社整理損  
日本サーキット工業(株)解散決定に伴う損失を計上。

(注) 本表の増減は対損益増減を示しております。

# 連結 2015年度第2四半期 貸借対照表

【単位：億円】

科目	2015年 3月末	2015年 9月末	増 減	科目	2015年 3月末	2015年 9月末	増 減
流動資産	3,721	3,441	▲ 279	負債	3,679	3,401	▲ 278
現預金	623	542	▲ 80	買掛債務	793	689	▲ 103
売掛債権	1,527	1,447	▲ 80	有利子負債	2,156	2,033	▲ 122
棚卸資産	1,103	1,087	▲ 15	その他	729	678	▲ 51
その他	467	364	▲ 103				
固定資産	4,186	4,218	32	純資産	4,228	4,259	30
有形・無形固定資産	2,451	2,427	▲ 23	株主資本	3,489	3,611	122
投資有価証券	1,646	1,693	47	その他包括利益累計額	286	189	▲ 97
その他の資産	88	96	8	非支配株主持分	452	457	5
資産合計	7,907	7,660	▲ 247	負債・純資産合計	7,907	7,660	▲ 247
				自己資本比率 (%)	47.8	49.6	

# 連結 2015年度 第2四半期 キャッシュフロー計算書

【単位：億円】

	2014年度 2Q累計	2015年度 2Q累計	増減
営業キャッシュフロー	404	285	▲ 119
税金等調整前四半期純利益	229	234	4
減価償却費	115	131	15
持分法利益	▲ 167	▲ 81	86
持分法適用会社からの配当金受取額	131	11	▲ 120
運転資金等	94	▲ 11	▲ 105
投資キャッシュフロー	▲ 75	▲ 157	▲ 81
フリーキャッシュフロー（営業CF+投資CF）	328	127	▲ 200
財務キャッシュフロー	▲ 166	▲ 240	▲ 74
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	6	▲ 6
現金及び現金同等物の増減額	175	▲ 106	▲ 282
現金及び現金同等物の期首残高	373	726	353
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	3	-	▲ 3
現金及び現金同等物の期末残高	552	620	67

## 連結 2015年度 通期予想

【単位：億円】

	2015年度 前回予想	2015年度 今回予想	増 減		2014年度 実績
			金額	%	
売上高	6,200	6,000	▲ 200	▲ 3.2	5,295
営業利益	250	265	15	6.0	149
(持分法利益)	(160)	(150)	(▲ 10)	(▲ 6.3)	(278)
経常利益	370	360	▲ 10	▲ 2.7	420
税金等調整前当期純利益	350	340	▲ 10	▲ 2.9	460
親会社株主に帰属する当期純利益	290	260	▲ 30	▲ 10.3	433

EPS (円/株)	64.45	58.32
ROE (%)	7.5	6.8
年間配当金 (円/株)	16.0	16.0
為替レート (円/US\$)	120	121

- ▶ 天然ガス系化学品の市況下落や電子材料の数量減も、芳香族化学品や機能化学品の採算改善により、営業利益は前回予想を上回る見通し。
- ▶ 一方、海外子会社での為替差損の発生やメタノール市況下落に伴う海外メタノール生産会社に係る持分法利益の減少、税金費用の見直し等により、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る見通し。

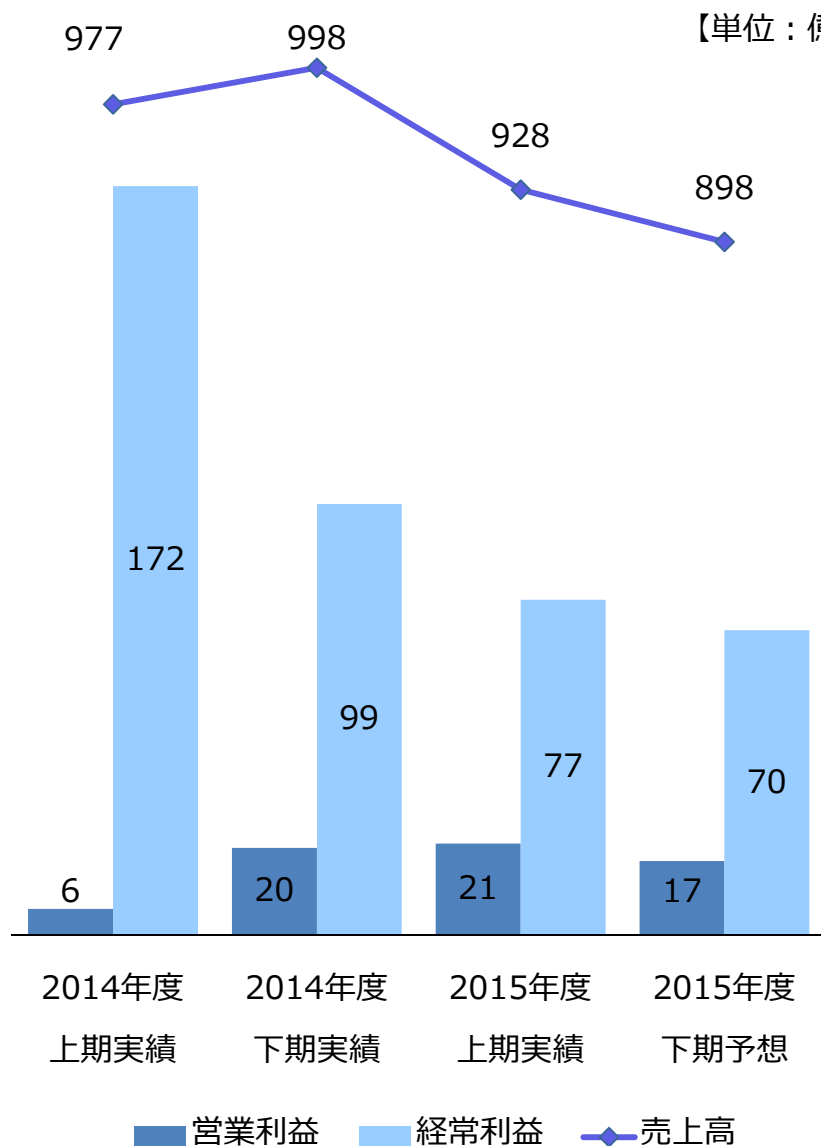
# セグメント別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移

【単位：億円】

	2014年度（実績）			2015年度(前回予想)			2015年度(今回予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)
売上高	2,678	2,617	5,295	3,100	3,100	6,200	3,002	2,997	6,000
天然ガス系化学品	977	998	1,976	937	952	1,890	928	898	1,827
芳香族化学品	653	579	1,233	1,115	1,089	2,204	1,050	1,097	2,148
機能化学品	823	836	1,660	847	834	1,681	827	821	1,648
特殊機能材	299	282	582	289	295	584	264	274	538
その他事業及び調整額	▲ 76	▲ 80	▲ 156	▲ 88	▲ 72	▲ 161	▲ 68	▲ 94	▲ 162
営業利益	63	86	149	110	140	250	153	111	265
天然ガス系化学品	6	20	27	20	31	51	21	17	39
芳香族化学品	15	14	30	61	61	123	77	62	140
機能化学品	32	50	82	26	37	63	56	33	90
特殊機能材	22	15	38	18	24	43	11	12	23
その他事業及び調整額	▲ 13	▲ 15	▲ 28	▲ 16	▲ 14	▲ 30	▲ 14	▲ 14	▲ 28
経常利益	229	190	420	170	200	370	211	148	360
天然ガス系化学品	172	99	272	73	92	166	77	70	148
芳香族化学品	▲ 3	13	10	52	51	103	71	48	119
機能化学品	29	62	91	36	42	78	58	29	87
特殊機能材	24	15	40	18	21	40	8	8	16
その他事業及び調整額	5	▲ 0	5	▲ 11	▲ 7	▲ 19	▲ 4	▲ 8	▲ 12



# 天然ガス系化学品



## 2015年度 上期(実績、前年同期比)

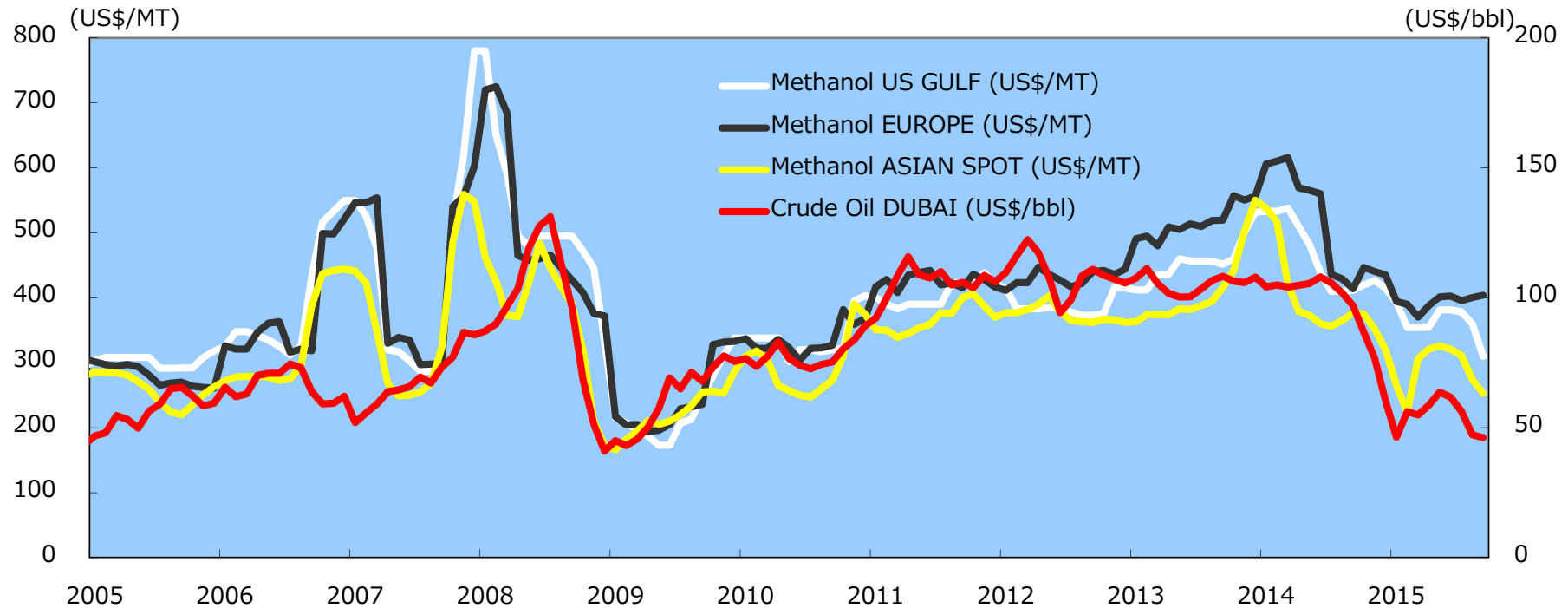
- ▶ 国際市況の下落に伴いメタノールの売上高が減少。
- ▶ 円安及び原料価格の低下によりMMA系製品等の採算が改善、営業利益は増加。
- ▶ 海外メタノール生産会社も市況下落に加え、ブルネイ拠点での定修実施もあり持分法利益が減少、経常減益。

## 2015年度 下期(予想、上期実績比)

- ▶ メタノール市況は引き続き低調に推移すると予想、ブルネイ拠点の稼働は回復も、経常利益は上期を下回る見通し。

# 天然ガス系化学品 メタノール市況の動向

## メタノール/原油価格の推移



### 2015年度 上期実績

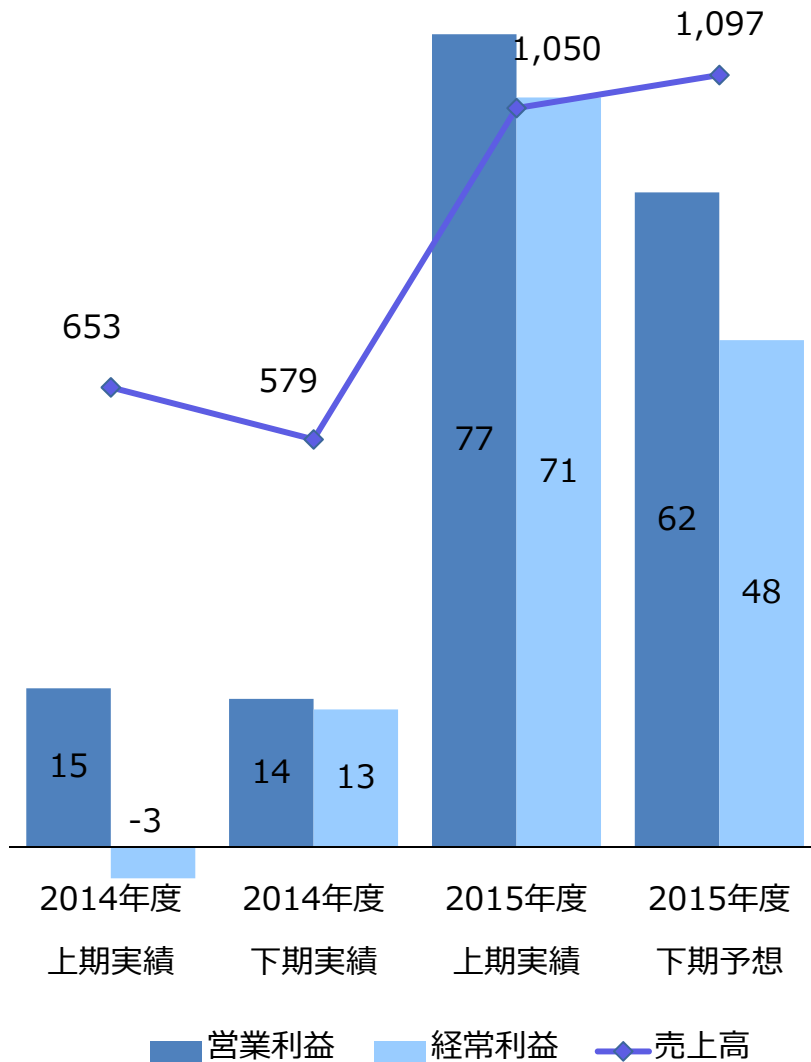
原油価格の持ち直しやMTOの新規需要により1Q(4~6月)の市況は回復も、2Q(7~9月)は原油価格の下落や需要減退の影響を受け、下落基調で推移。

### 2015年度 下期想定及び今後の見通し

大型プラントの安定的な稼働、北米での新規/移設プラントの稼働開始により、十分な供給が継続する見通し。需要面では中国のMTOプラント新規稼働(2015年後半に2基)による増加を見込む。2015年度下期(10~3月)のアジアスポット平均価格(想定)は270US\$/MT。

# 芳香族化学品

【単位：億円】



## 2015年度 上期(実績、前年同期比)

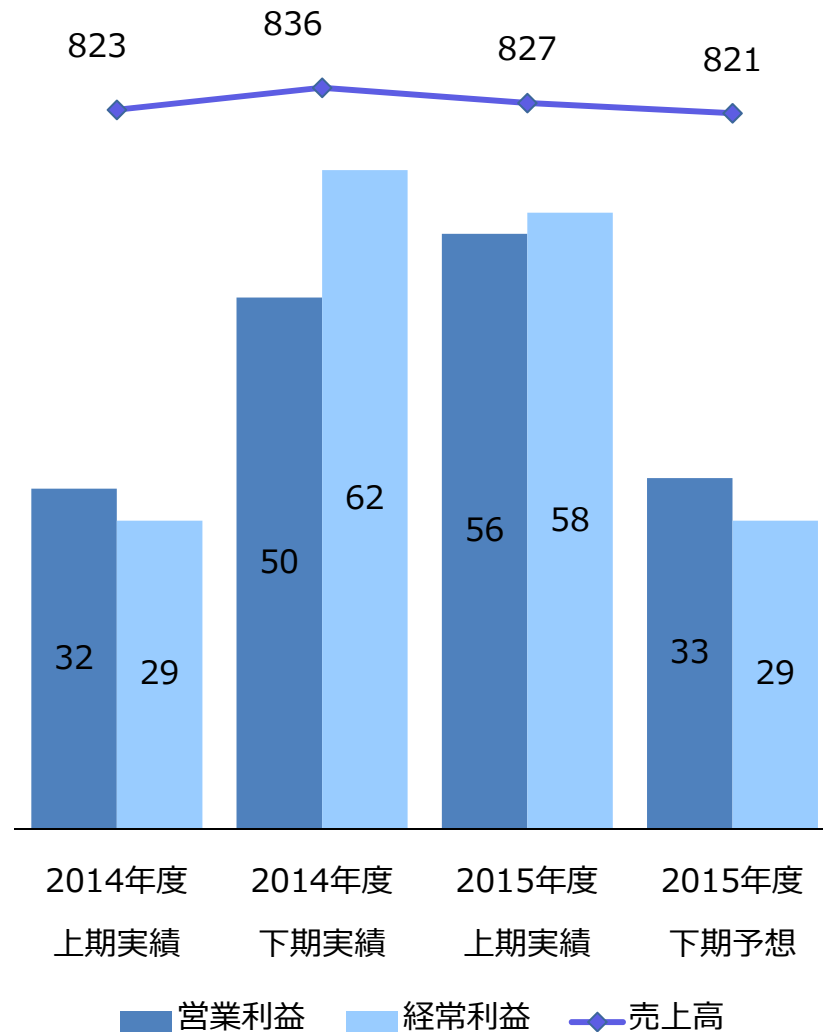
- 高純度テレフタル酸の事業撤退等により単体の売上高は大幅減も、(株)JSPの連結子会社化により増収。
- (株)JSPの連結化に加え、円安及び原燃料価格の低下に伴いメタキシレンジアミン(MXDA)や高純度イソフタル酸(PIA)等の利益率が向上、営業利益が増加。

## 2015年度 下期(予想、上期実績比)

- 芳香族アルデヒドの数量増等を見込むも、水島工場での定期修繕により単体の利益は減少する見通し。
- (株)JSPは概ね上期並みの推移を予想。

# 機能化学品

【単位：億円】



## 2015年度 上期(実績、前年同期比)

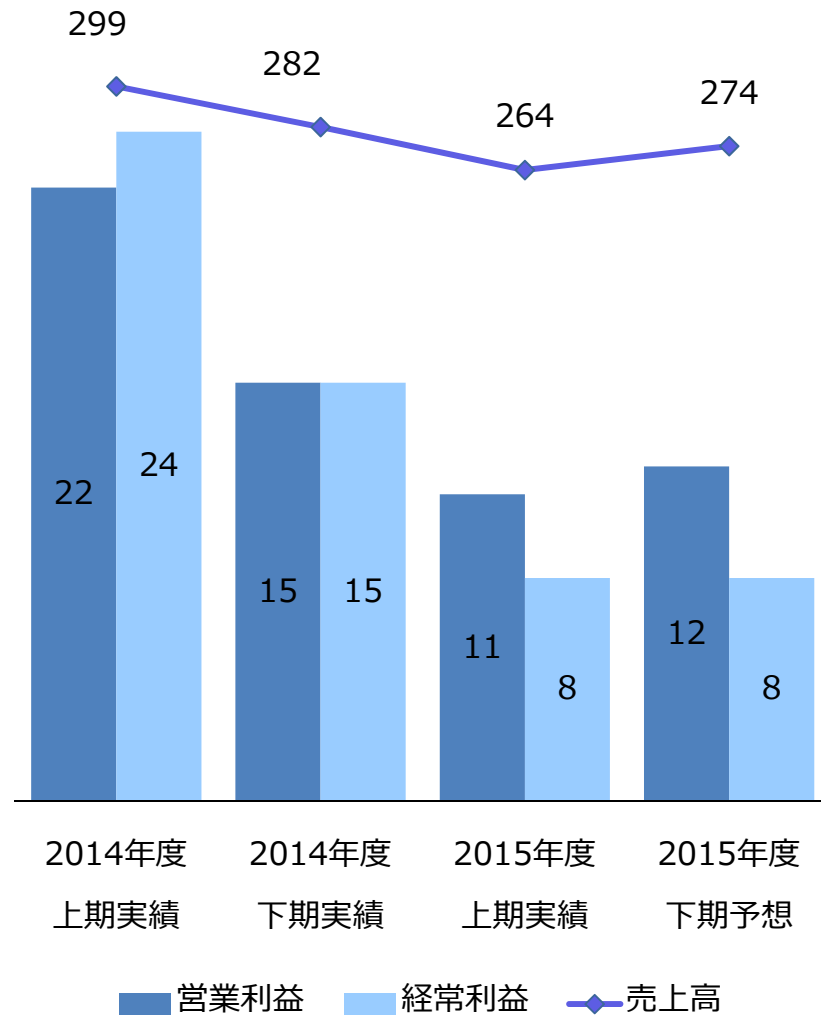
- 無機化学品は、過酸化水素の価格是正、海外での超純過酸化水素の販売好調、円安効果等により、増収増益。
- 合成樹脂は、PCシートフィルムが需要低迷により悪化も、原料価格低下によるPC/POMの採算改善、モバイル機器のカメラレンズ向け特殊PCの数量増等により、損益改善。

## 2015年度 下期(予想、上期実績比)

- 無機化学品は、海外での超純過酸化水素の数量減等により、減収減益の見通し。
- 合成樹脂は、PC/PCシートフィルムは概ね上期並みの事業環境が継続すると予想。POMは売価下落を見込む。

# 特殊機能材

【単位：億円】



## 2015年度 上期(実績、前年同期比)

- 電子材料は、スマートフォンの成長鈍化やその他エレクトロニクス製品の需要低迷の影響を受け、BT材料の販売が低調に推移、減収減益。
- 脱酸素剤は、消費増税の影響が無くなり国内販売数量が回復、海外向けも伸長し、増収増益。

## 2015年度 下期(予想、上期実績比)

- 電子材料は、BT材料の販売について下期も厳しい状況が継続する見込み。
- 脱酸素剤は、例年通り年末の需要期に伴う販売数量増を見込む。

## 中期経営計画『MGC Advance2017』中核事業の動向

- ▶メタノール 足元の市況見通しは不透明もコスト競争力は不変。トリニダード・トバゴでのプロジェクトを投資決定。
- ▶資源エネルギー 国内地熱事業が進展。カナダ・シェールガスLNGプロジェクトを推進。
- ▶MXDA/MXナイロン 原燃料価格の低下や円安効果により収益堅調。ユーザー・用途の拡大を追求。
- ▶発泡体（株）J S P 販売堅調、原料価格の低下により収益環境は良好。グループシナジー実現に向け各種の取組を推進。
- ▶過酸化水素/EL薬品 収益堅調も供給先である半導体や液晶分野の環境変化は激しい。大手ユーザーへの安定供給や次世代用途への新規製品の開発に注力。
- ▶ポリカーボネート/機能性シートフィルム シートフィルムは低迷も、PCはスプレッド改善の恩恵を享受。特殊PCは好調。特殊化・高付加価値化の推進。
- ▶BT系製品 今年度中は厳しい需要環境が続く見込み。周辺分野への参入も模索。
- ▶エージレス® 国内のインバウンド効果や輸出増加により収益は拡大基調。

# 参考：各種指標（1）

## 1. 各種指標推移（連結）

※ROA=総資産経常利益率

【単位：億円】

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015(予)
設備投資額 (うち2Q累計)	295 (147)	394 (160)	351 (193)	276 (141)	354 (146)	424 (224)	309 (177)	254 (138)	222 (103)	350 (149)
減価償却費 (うち2Q累計)	198 (91)	245 (110)	289 (135)	295 (137)	290 (138)	277 (134)	230 (107)	235 (114)	237 (115)	270 (131)
研究開発費 (うち2Q累計)	115 (58)	136 (66)	147 (67)	162 (74)	164 (74)	174 (88)	151 (72)	161 (80)	168 (80)	190 (92)
年度末人員(人)	4,561	4,686	4,902	4,920	4,979	5,216	5,323	5,445	8,254	8,298
EPS(円/株)	87	87	15	13	42	27	▲17	33	98	58
ROA (%)	10.5	10.2	1.2	1.4	6.5	4.5	4.6	4.8	5.9	4.6
ROE (%)	15.0	13.7	2.5	2.2	6.9	4.4	▲2.8	5.0	12.9	6.8
配当金(円/株) (うち2Q末)	14.0 (6.0)	16.0 (8.0)	16.0 (8.0)	8.0 (4.0)	8.0 (4.0)	12.0 (6.0)	12.0 (6.0)	12.0 (6.0)	14.0 (7.0)	16.0 (8.0)

## 2. セグメント別 設備投資額・減価償却費（連結）

【単位：億円】

年度		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
設備投資額	天然ガス系化学品	62	56	107	71	140	139	63	45	57
	芳香族化学品	75	172	106	77	45	47	57	23	40
	機能化学品	87	74	91	81	148	216	150	112	76
	特殊機能材	70	92	47	45	18	18	33	66	43
	その他	0	0	0	1	3	1	3	5	3
減価償却費	天然ガス系化学品	46	54	64	75	86	77	62	63	69
	芳香族化学品	37	52	77	79	78	77	58	41	39
	機能化学品	80	96	97	86	80	84	77	95	92
	特殊機能材	36	42	51	51	42	35	27	31	33
	その他	0	0	0	4	4	3	3	3	3

## 参考：各種指標（2）

### 3. 業績前提

	2007年度		2008年度		2009年度		2010年度		2011年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
メタノール (US\$/MT)	332	398	424	336	195	246	283	307	349	385
原料キシレン (US\$/MT)	960	950	1,200	600	770	870	830	1,050	1,260	1,280
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	800 ~1,500	1,000 ~1,300	1,200 ~1,700	1,800 ~2,100	2,100 ~2,500	2,000 ~2,500	1,400 ~1,800
ポリカーボネート (US\$/MT)	2,600 ~2,850	2,400 ~2,850	2,450 ~2,850	1,900 ~2,450	1,900 ~2,400	2,400 ~2,900	2,450 ~2,950	2,400 ~2,900	2,800 ~3,000	2,600 ~2,900
為替(円/US\$)	119	109	106	95	96	90	89	82	80	78

	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		備考
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期 (実績)	下期 (予想)	
メタノール (US\$/MT)	385	364	375	449	432	358	294	270	アジアスポット平均 価格
原料キシレン (US\$/MT)	1,190	1,320	1,230	1,160	1,100	730	740	720	スポット価格 (FOB-Korea)
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,500 ~1,800	1,600 ~2,000	1,550 ~1,800	1,550 ~1,700	1,600 ~2,000	1,200 ~1,900	950 ~1,500	900 ~1,300	主要平均CIF価格
ポリカーボネート (US\$/MT)	2,500 ~2,800	2,500 ~2,800	2,400 ~2,600	2,400 ~2,600	2,500 ~2,700	2,300 ~2,700	2,100 ~2,650	2,000 ~2,500	
為替(円/US\$)	79	87	99	102	103	117	122	120	

※メタノールについては、2014年度まで、上期は1-6月、下期は7-12月の価格を表記しております。

2015年度は、上期は4-9月、下期は10-3月の価格予想を表記しております。



## お問い合わせ先

**三菱ガス化学株式会社**

**広報 I R 部**

TEL 03-3283-5041

<http://www.mgc.co.jp/>

〈見通しに関する注意事項〉

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。